

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名:	カラーチェック 洗浄液/除去液 FR-S (エアゾール)
会社名:	株式会社 タセト
住所:	神奈川県藤沢市宮前 100-1
電話番号:	0466-29-5638
緊急連絡電話番号:	0466-29-5638
FAX番号:	0466-29-5630
推奨用途及び使用上の制限:	浸透探傷試験用洗浄液/除去液

2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	エアゾール	区分1
		自然発火性液体	区分外
		* 記載のない物理化学的危険性は、分類対象外か分類できない。	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
		急性毒性(経皮)	区分外
		急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
		急性毒性(吸入:蒸気)	区分5
		急性毒性(吸入:粉塵)	分類対象外
		急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
		皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
		眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分2B
		呼吸器感作性	分類できない
		皮膚感作性	分類できない
		生殖細胞変異原性	分類できない
		発がん性	分類できない
		生殖毒性	分類できない
		生殖毒性・授乳に対する 又は授乳を介した影響	分類できない
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
		特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分外
		水生環境有害性(急性)	区分外
		水生環境有害性(長期間)	区分外
		オゾン層への有害性	区分外

ラベル要素 絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
 高压容器:熱すると破裂のおそれ
 吸入すると有害のおそれ(蒸気)
 皮膚刺激
 眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ/眠気又はめまいのおそれ

注意書き:

【安全対策】すべての安全注意(本SDS等)を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電
 や火花による引火を防止すること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】火災の場合には適切な消火方法をとること。

飲み込んだ場合、吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分及び含有量

化学名	濃度 (wt%)	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法)	PRTR法 ¹⁾
脂肪族/脂環式炭化水素	55～65	非公開	非公開	非該当
ノナン ^{II)}	(<4)	111-84-2	(2)-9	非該当
噴射剤 LPG :プロパン	10～15	74-98-6	(2)-3	非該当
:ブタン ^{II)}	25～35	75-28-5、 106-97-8	(2)-4	非該当

* () :成分中に含有する。

危険有害成分

I) 化学物質排出把握管理促進法 非該当

II) 労働安全衛生法 57条の2 通知対象物質： ノナン(政令番号432)、ブタン(政令番号482)
毒物劇物取締法 対象物ではない

4. 応急措置

吸入した場合：

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合：

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状：

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入：めまい、頭痛、し眠、吐き気、意識喪失。

皮膚：皮膚の乾燥。

眼：発赤。

経口摂取：咳、下痢、咽頭痛、嘔吐。めまい、頭痛、し眠、吐き気、意識喪失。

最も重要な兆候及び症状：

高濃度の蒸気にはく露すると、意識を喪失することがある。

この液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を起こすことがある。

この液体は皮膚の脱脂を起こす。

医師に対する特別注意事項：

化学性肺炎の症状は、数時間～数日経過するまで現われない。

5. 火災時の措置

消火剤：

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤：

棒状放水、水噴霧

特有の危険有害性：

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

特有の消火方法：	消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護：	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置：	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項： 回収・中和：	環境中に放出してはならない。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材： 二次災害の防止策：	危険でなければ漏れを止める。 すべての着火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：	この液体は静電気を蓄積する可能性がある。適切なボンディングとアースのいずれか或いは両方を行う。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
保管 接触回避：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管 技術的対策：	消防法の規制に従う。
保管 混触危険物質：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管 保管条件：	容器を密閉して冷所で換気の良い場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度(ばく露限界値)： 日本産衛学会(2012年版) ACGIH(2011年版)	200ppm (ノナンとして) TLV-TWA 200ppm (ノナン及び全ての異性体として設定されている。)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具 呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 外観	無色透明液体
臭い	マイルドな石油/溶剤臭
pH	適用外
融点	データなし
凝固点	<-40℃

沸点、初留点及び沸騰範囲	147～199℃	
引火点	40℃以上	
自然発火温度(発火点)	>200℃	
燃焼範囲	0.6 ～ 7.0vol%	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	>1 (空気=1)	
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	0.11	
比重(密度)	0.77	
水への溶解性	無視できる	
Log Pow(オクタノール・水分配係数)	データなし	
分解温度	データなし	
粘度	<2 mm ² /sec /40℃	
「噴射剤」	プロパン	ブタン
沸点	-42℃	-0.5～-11.7℃
凝固点	-187℃	-138～160℃
引火点	-90℃	-72～-81℃
爆発限界	2.2～9.5 vol%	1.8～8.5 vol%
蒸気密度	1.15 (空気1)	2.07 (空気1)

10. 安定性及び反応性

安定性：	安定。
危険有害反応可能性：	強力な酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件：	加熱、スパーク、はだか火及びその他の発火源は避ける。
混触危険物質：	強力な酸化剤
危険有害な分解生成物：	常温では分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性： 経口	ラットのLD ₅₀ 値が >15000 mg/kg であることから、区分外とした。
経皮	ラットのLD ₅₀ 値が >3160 mg/kg であることから、区分外とした。
吸入	吸入(ガス)： GHSの定義における液体である。 吸入(蒸気)： 頭痛、めまいを起こし、知覚が麻痺し、他の中枢神経に影響を及ぼすおそれ。(区分5)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	吸入(ミスト)： データなし 長期間のばく露により、皮膚に中度の刺激(炎症)を与えることから、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性：	眼に短い時間軽度な不快感を及ぼすおそれがある。(区分2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	ばく露レベルを超えた濃度の蒸気は、眼、呼吸器系を刺激し、頭痛、めまいを起こし、知覚が麻痺し、他の中枢神経系に悪影響することがあることから、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	データなし
吸引性呼吸器有害性：	エアゾールはミストの状態では噴霧されるので、通常は該当しないため、区分外とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)：	区分外
水生環境有害性(長期間)：	区分外
オゾン層への有害性：	区分外

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
--------	--

汚染容器及び包装：

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容液を完全に取り除くこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 航空規制情報	IMOの規制に従う。 ICAO/IATAの規制に従う。
	UN No.(国連番号):	1950
	Proper Shipping Name(品名):	エアゾール (Aerosols)
	Class(クラス):	2.1
	Packing Group(容器等級):	-
国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	消防法の規制に従う。 船舶安全法の規制に従う。 航空法の規制に従う。
緊急時応急措置指針番号		126
特別安全対策		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	表示対象物質：非該当 通知対象物質：ノナン、ブタン 危険物：引火性の物、可燃性ガス 有機溶剤中毒予防規則：非該当 特定化学物質等障害予防規則：非該当
消防法：	危険物 第4類 第二石油類（非水溶性液体）危険等級Ⅲ
高圧ガス保安法：	適用除外
毒物及び劇物取締法：	非該当
化学物質排出把握管理促進法： （PRTR法）	非該当
船舶安全法：	高圧ガス、エアゾール （危険物船舶運送及び貯蔵規則 第2、3条、告示 別表第1）
航空法：	高圧ガス、エアゾール （航空法施行規則 第194条、告示 別表第1）

16. その他の情報

参考文献等：

- 1) 中央労働災害防止協会「GHSモデルMSDS情報」
- 2) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 3) 日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック [混合物用(塗料用)]」
- 4) JIS Z 7252:2009「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
- 5) JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 6) ㈱タセト 社内資料（原材料MSDS）

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。